

若者の参画による少子化対策、結婚問題について

町長 平成17年3月に、保育所や小中学校保護者等子育てをされている方々のご意見も伺い、次世代育成支援地域行動計画を策定している。現在、保育所では、生後6ヶ月以上の乳児を預かる0才児保育やいのこり保育を実施するとともに、保健師等による乳幼児対象の育児相談や親子教室を開催し、子育て支援に努めている。

平成18年度には、町、南予児童相談所、宇和島保健所、警察および民生児童委員により「要保護児童対策地域協議会」を設置し、児童に対する虐待の未然防止と早期対応を図るとともに、保護者に対しての支援・指導を行うなど、児童の健全育成に努めているところである。今後も、子育て世代等多くの皆さんのご意見をお聞きしながら、町独自の少子化対策、子育て支援策について検討していきたい。

「結婚問題」については、合併前の広見町・日吉村で、若者の結婚推進のための委員会を設置して活動をしていたが、合併前に、いずれの委員会も解散している。町の活性化はもちろん社会の維持発展にもつながる重要な問題であるが、町が主体となって取り組むには限界もあるので、今後、組織体制や推進方法等を慎重に協議、検討していきたい。

いじめ問題について

教育委員長 毎月各学校調査により把握しており、今年度は現在までに1件報告があったが、現在その事案については解決している。その他、直接教育委員会に相談・指摘のあった事例はない。いじめ問題や不登校問題についてはブライパシーに配慮しながら学校と緊密な連携を取り、早期に解決するよう対策を講じている。

## 井上 博 議員

三島町営住宅について

町長 落札価格と業者名は、A棟が1千638万円で有限会社・清家工務店・代表取締役・清家卓也、B棟が1千617万円で善家工務店・代表者・善家量男、C棟が1千575万円で高田工務店・代表者・高田弘、D棟が1千575万円で有限会社・滝平工務店・代表取締役・滝平裕作である。入札参加者は町内の13業者である。今後計画している町営住宅の入札方法は、町内商工業者の育成と振興、町内雇用の確保の観点から、「町内でできるものは町内」という基本方針で入札を実施していきたい。

日吉ふれあい農園の利用者について

町長 新聞・インターネット等で利用者を募集したところ、コテージ付き農園が6区画、農園のみが7区画、全て利用者が決定している。利用者の内訳は、松山市

6人、宇和島市3人などとなっており、松山市を中心に利用していた。だいている。

農業集落排水施設について

町長 現在、農業集落排水事業と浄化槽市町村整備事業による個別合併浄化槽の設置を実施している。この生活排水処理施設の整備は、全町を対象として、効率的かつ効果的に実施できるよう「下水道化基本構想」を策定し、それと整合をとりながら、計画的に事業を推進している。基本構想の考え方は、人口の密集している地区においては公共下水道とし、農業振興地域内で集落として人家がまとまっている地区（おおむね20戸以上）は、集合処理区域として設定し、農業集落排水事業で整備を行っていくことにしている。その他の地域は、個別合併浄化槽設置を推進していくことにしている。

今後の農業集落排水事業の構想としては、現在までに6地区が整備できているので、残りの集合処理区域である4地区においては、一義的には地元要望の高まりをうけて事業計画を進めていくことになると考えている。

後継者がいなくて人口・戸数が減少している地区や地表勾配等地形条件などの不適により、農業集落排水施設として整備することが効率的・経済的に適さない可能性がある地区においては、個別合併浄化槽との比較検討を行う必要がある

あると考えている。

「これから農業集落排水処理施設の整備を見込んでいる地区も含めて、今後は個別合併浄化槽設置に一本化して推進すべき」とのご提言については、町全域にかかる基本構想の全面的な見直しとなるので、今後、国・県が示すとしている下水道施設整備の指針等に基づき、具体的に検討していきたい。

職員の内訳は、

町長 時折同じようなご意見を聞くことがあるので、職員会や庁議の折に訓辞し、注意を喚起するとともに、職場環境の浄化に向けた意識づけを行っているが、まだまだ感情に流されやすい職員もいるのではないかと危惧している。朝のあいさつの訓練はしてないが、接遇・電話の対応などに関しては、職員研修等を実施し、改善に努めている。今後も、住民をはじめ外部のお客様に不愉快な思いや苛立ちを持たれることのない職場環境づくりに努めるとともに、日常業務の中で、職員全員が心の通った対応や気持ちのよいあいさつができるよう意思の疎通を図ってきたい。